社会資本総合整備計画

雀宮地区都市再生整備計画

平成28年3月23日

栃木県宇都宮市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成28年3月23日

計画の名称	105　雀宮地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成24年度　～　平成27年度　（4年間）	交付対象	宇都宮市

計画の目標

雀宮地区は，ＪＲ雀宮駅を有し，南北に走るＪＲ宇都宮駅と国道４号を軸に，住宅系の市街地が形成された都市的土地利用が進んでいる地区である。平成23年3月に雀宮駅東口が開設されたほか，駅東において，7月に市立南図書館が開館，9月には県立宇都宮工業高校が移転・整備されるなど，教育・文化関連施設が立地し，駅を核とした地域交流拠点としての機能強化が図られたところである。しかしながら，駅西側においては，特に朝夕の通勤通学時に自動車，自転車，歩行者が錯綜し危険な状況になっており，周辺道路の整備が必要となっている。また，平成15年度には，自治会等，地区で活動する団体で組織される雀宮地区まちづくり推進協議会及び五代若松原地域づくり推進協議会が発足するなど，地域の活性化を図る機運が高い地域であるが，五代若松原地域においては，地域の活動拠点が整備されていない状況にある。

このため，西口駅前広場や駅前通りの整備と合わせて周辺道路を拡幅整備し，地域の安全性・利便性を高めるほか，駅周辺において，各整備事業の進展に合わせ景観形成を図り，市民や来訪者の快適性を高める。また，地域コミュニティセンター等，地域活動の拠点となる施設の整備を行い，活発な地域活動，コミュニティ活動を支援する。

計画の成果目標（定量的指標）

・JR雀宮駅の乗降客数を１日平均で6,600人から7,150人に増加
・雀宮地区において，まちの快適な空間に満足している人の割合を31.0%から41.5%に増加
・五代若松原地域コミュニティセンター等の年間利用回数を年平均で2,000回(H23) から2,400回に増加

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	備考
東日本旅客鉄道(株)が公表するJR雀宮駅の「乗車人員」を把握する。	6,600人／年	7,000人／年	7,150人／年	
市民意識調査により，雀宮地区における「まちの快適な空間に対する満足度」を把握する。	31.0　%	38.0　%	41.5　%	
五代若松原地域コミュニティセンター及び雀宮地区市民センターの利用実績を計測する。	3,700回／年	4,000回／年	4,100回／年	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	796.4百万円	A	796.4百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	0.0%

交付対象事業

A1　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H24	H25	H26	H27	H28	全体事業費（百万円）	備考
1-A-1	市街地	一般	宇都宮市	直接	宇都宮市	雀宮地区都市再生整備計画事業	道路・高次都市施設等	宇都宮市						796.4	別添1
													合計	796.4	

B　関連社会資本整備事業

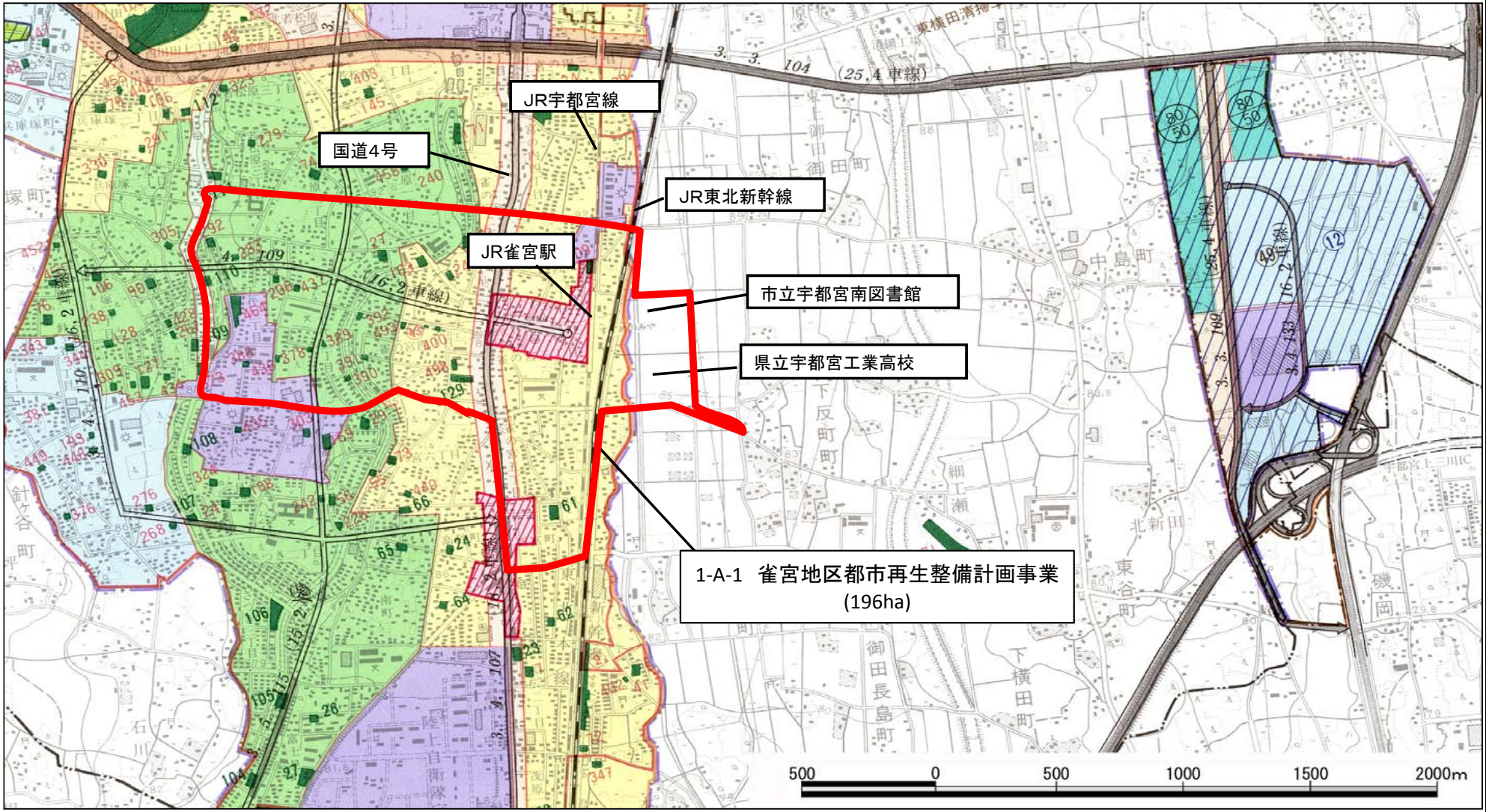
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H24	H25	H26	H27	H28	全体事業費（百万円）	備考
													合計	0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H24	H25	H26	H27	H28	全体事業費（百万円）	備考
													合計	0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

（参考図面）市街地整備

計画の名称	105　雀宮地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成24年度　～　平成27年度　（4年間）	交付対象	栃木県宇都宮市